

事業所名

児童発達支援事業所さずな

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

10 日

法人（事業所）理念		「障害のある仲間たちとともに、誰もが安心して暮らせる社会を実現」			
支援方針		応用行動学分析（ABA）を基に、問題行動の軽減と代替行動の習得、言語・社交性スキルの向上、自立身辺スキルの獲得を目指します。お子さまの発達段階に応じた支援を行い、家庭や地域と連携しながら、安心して成長できる環境を提供します。			
営業時間		9 時 0 分から 18 時 0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	トイレ・食事・着替えなどの自立スキルを、ほめながら少しずつ習得できるよう支援する。 絵カードやスケジュール表を使い、1日の流れを分かりやすくし、お子さまの不安を減らす。 手順を細かく分けて練習し、一つひとつの成功体験を積み重ねながら習慣化する。			
	運動・感覚	遊びの中でジャンプやボール投げなどの動きを楽しく練習し、体の使い方を学ぶ。 簡単な動作から成功体験を増やししながら、少しずつ新しい動きを覚えられるよう支援する。 音や光に敏感なお子さまには、刺激を調節しながら安心できる環境を整えます。			
	認知・行動	機能分析に基づき、問題行動の要因を特定し、適切な代替行動を指導する。 プロンプトフェーディング（段階的な手助けの減少）を活用し、自発的な問題解決のスキルを育成する。 選択肢を増やし、自分で決める力を伸ばす。			
	言語 コミュニケーション	言葉が出にくいお子さまには、絵カードやジェスチャーを使ったコミュニケーションをサポートする。 「ちょうだい」「みせて」などのやり取りを遊びの中で練習し、会話のきっかけを作る。 会話の流れを学ぶために、繰り返しの練習やストーリーを活用する。			
	人間関係 社会性	順番を待つ、ルールを守るなど、集団の中で必要なスキルを遊びながら学ぶ。 「ありがとう」「ごめんね」など、気持ちを表現する練習を行う。 他者とのやり取りをサポートし、楽しく関われる機会を増やす。			
家族支援		保護者向けの相談、ペアトレ、勉強会の実施。 家庭で使えるプログラムや、視覚的支援の提供。 きょうだい支援。	移行支援	保育園・幼稚園へ訪問、園と連携し適応スキルの練習。 集団生活に必要なスキルの指導。 先生向けに対処方法のアドバイスを提供。	
地域支援・地域連携		必要に応じて関係機関と情報を交換、共有し、生活や支援に関する提案をしていく。	職員の質の向上	月1回の事業所内研修を実施。 外部研修への参加、伝達研修を実施。	
主な行事等		お花見・納涼会・お月見・ハロウィン・クリスマス会など季節ごとの行事、消防・避難訓練。			